

私の5年目のホーム

平成25年の卒業生、高林司と申します。この度は、昨年の11月25日に開催されました、同窓会「卒業後5年目のホームカミングパーティー」について、大変僣越ではありますが執筆させていただきます。

今回の同窓会は私たち、平成25年の卒業生が卒業し5年目を迎えるにあたり、学校の先生の方々、代々のOBOGの皆様のご協力もあり無事に開催されました。そんな中私も参加させていただきまして、今回の「ホームカミングパーティー」について当日の様子と感想を綴らせていただきたいと思っております。



上：在学中にお世話になった生澤先生と当時の話で大笑い
下：五年ぶりの仲間と話は尽きず(筆者左端)

はじめに、恐縮ではございますが自己紹介をさせていただきます。私は、男子バスケットボール部の推薦入学で本学に入学しました。私は生まれて来た場所も育った場所も東京都北区ということもあり、成立学園高校へ入学し、勉学に励みながら、強豪チームであるバスケットボール部でプレーするというのが夢でした。そんななか私を推薦してくださった、袴田コーチにはとても感謝しております。また在学中、部活動では、チーム一丸の努力によって関東大会出場、東京都5位という結果を残すことができました。当時

の思い出は今でも鮮明に残っているものであり、現在日々過ごす中で、当時の経験が今でも役に立っているのを強く感じております。学業では、一般受験の末、獨協大学に入学。一昨年に一年間海外留学をするなど学業に励んでおります。そんな私自身を大きく成長させてくれた思い出の沢山ある母校のホームカミングパーティーでありました。私は今回のホームカミングパーティーを大いに楽しませていただきました。当日は大勢の卒業生が集まり、みんな久しぶりの再会を喜ぶ姿、思いついた花を咲かせる姿など、卒業生たちの笑顔と再会した時の感動と安堵の表情が伺えました。みんなで楽しく触れ合っている姿は高校生当時のようで私も当時に戻ったようなフレッシュな気持ちになりました。また同じ卒業生の近況を聞き、喜ぶと同時に私もこれから頑張っていかなければと刺激をたくさんもらえる良い機会でした。このような場を設けていただき、卒業生一同、協力してくださったOBOG会の皆様、教員の皆様には心から感謝しております。また会の後には二次会



卒業生
獨協大学
高林 司
(平成25年卒)

という形で卒業生のほとんどが参加し、当日夜遅くまで当時の思い出に浸ることができました。私はこのホームカミングパーティーの意味を再出発の場だと考えております。卒業生一同、在学中とはそれぞれ別の状況にあり、学校に通う方や社会人の方様々でしたが私達は同じ「ホーム」の出身であり、家族といつても過言ではないのではないのでしょうか。私個人としても当日は友達の一回りも、二回りも成長した姿を見て、感動したのを覚えております。また、在学中にはコミュニケーションを取る機会がなかった同期とも新たなつながりを持つことができました。今回のホームカミングパーティーは在学中からある「長いつながり」と、新たな方々と出会い、できた「新しいつながり」とが融合したそんな場所でありました。その二つを踏まえ卒業生一同、新たに再出発をされたことを感じました。

TRY! 1000days

「見える学力」と「見えない学力」を共に育て、生涯学び続けるための足腰を鍛える。

子どもたちの心を世界に拓く
成立学園中学・高等学校
 〒114-0001 東京都北区東十条6-9-13 TEL.03-3902-5494 (代表) FAX.03-3903-9549 高専連携フリーダイヤル 0120-958810
www.seiritsu.ac.jp